

腎腫瘍治療における臨床所見と病理学的特徴の検討に関する研究

1980年1月1日より2027年07月31日までに腎腫瘍のために治療を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「腎腫瘍治療における臨床所見と病理学的特徴の検討に関する研究」という研究を行います。この研究は、他の研究機関との共同研究として、1980年1月1日より2027年07月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて、腎腫瘍のために治療を受けられた患者さんの臨床所見と病理学的特徴を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。本調査で用いた情報は、共同研究機関へ提供させていただきます。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：腎腫瘍治療における臨床所見と病理学的特徴の検討に関する研究
研究期間：2018年2月23日（倫理委員会承認日）～2027年8月1日
当院における研究責任者：日本医科大学付属病院 泌尿器科 准教授 木村剛

(2) 研究の意義、目的について

期待される成果としては、腎腫瘍治療における臨床所見と病理学的特徴の検討を行う事で、腎腫瘍患者における至適治療法の選択を可能にし、各種最新医療の治療効果予測を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類および外部機関への提供について）

1980年01月01日～2027年07月31日までに日本医科大学付属病院泌尿器科にて腎腫瘍の診療を受けられた患者さんについて、以下の試料・情報を収集、使用します。

試料：血液、尿、手術時に切除した腎腫瘍組織等 情報：年齢、性別、血圧値、採血値、凝固系指標、治療歴、副作用歴等
これらの試料・情報は、代表研究機関である日本医科大学や共同研究機関である理化学研究所にてデータ解析を行います。これらの試料・情報は、セキュリティ管理されたウェブ上に入力を行い、研究グループが管理するサーバーへ電子的に収集されます。各研究機関から収集された試料・情報を用いて、研究グループが臨床所見および病理学的特徴から予後解析等の予測検討を行います。

(4) 共同研究機関（試料・情報を利用する者の範囲および試料・情報の管理について責任を有する者）

研究代表機関：日本医科大学付属病院 泌尿器科
研究全体の責任者：日本医科大学 泌尿器科 准教授 木村剛
その他の共同研究機関：
理化学研究所 山本陽一朗 理化学研究所 革新知能統合研究センター 病理情報学ユニットリーダー

(5) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(6) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(7) 本学における問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 泌尿器科 准教授 木村剛
〒113-8603 東京都文京区 千駄木 1-1-5
電話番号:03-3822-2131(代表) 内線:6473
メールアドレス:gokimura@nms.ac.jp